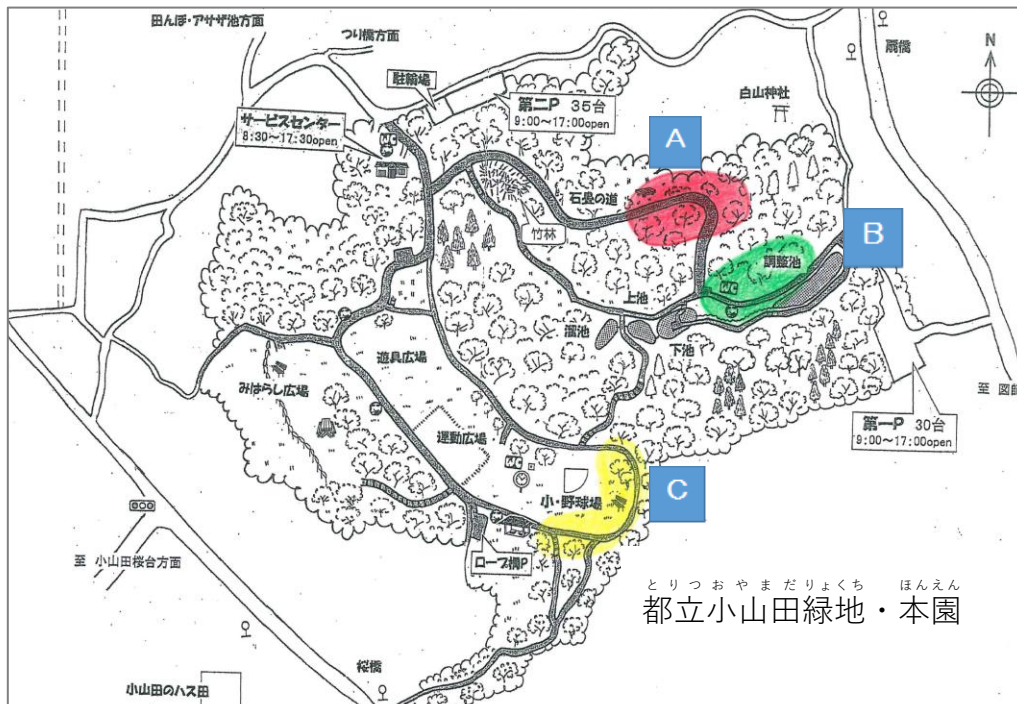


2021年 セミのぬけがら調査結果

まちだエコライフ推進公社では今年も都立小山田緑地でセミのぬけがら調査をおこないました。緑地内の本園でこの夏3回の調査をおこない、集めたぬけがらの数は合計524個でした。これは2016年から続けている調査の中で、2番目に少ない数です。2020年の調査で集めたぬけがらは497個でしたから、見つかったぬけがらの合計は前年とほぼ同じくらいでした。

調査地について

都立小山田緑地は、町田市北西部の自然の豊かな丘陵地にあり、本園と三つの分園からなっています。セミのぬけがら調査は本園（下図）のABCの調査地でおこないました。



調査地A

昔からの里山で、一部クヌギなどの植栽がある。地面はほぼ一面下草に覆われているが、日当たりが良く、明るい場所。

調査地B

昔からの里山で、近くに池があり、全体的に湿気が多く、薄暗い。下草で覆われた部分と、地面が露出した部分がある。露出している地面は固く、コケが生えているところもある。

調査地C

昔からの里山と整備された植栽が両方ある場所。ほぼ一面下草や落ち葉に覆われているが、草が短く刈られているところと、膝丈くらいになっているところがある。



調査地 A



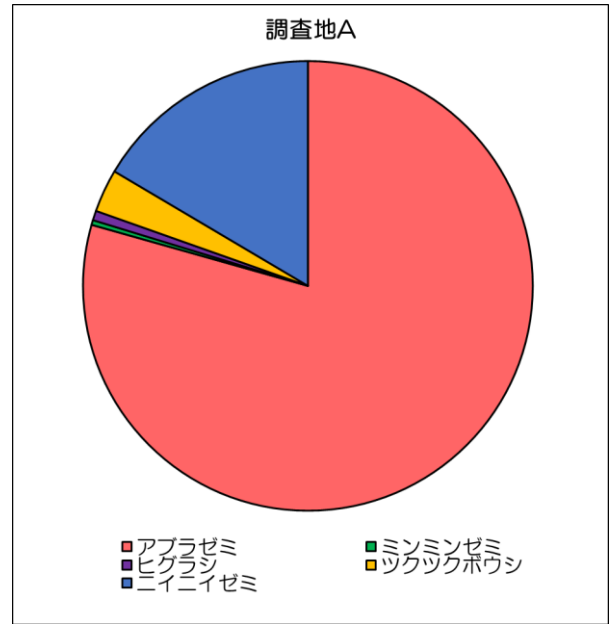
調査地 B



調査地 C

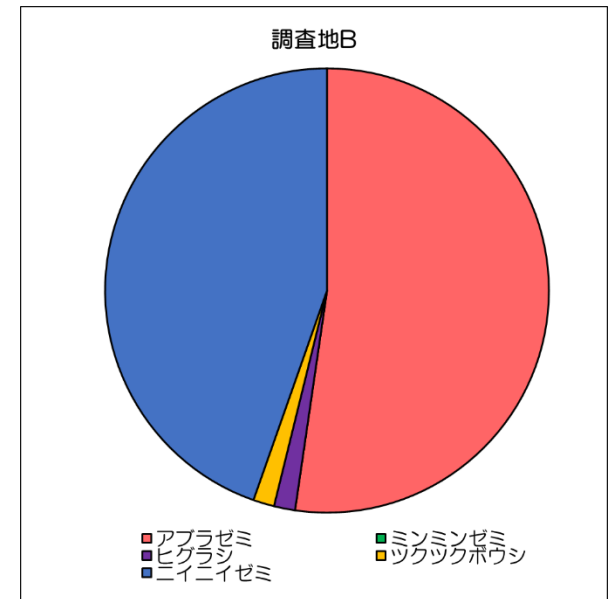
ちょうさち けっか
調査地Aの結果

しゅるい 種類	オス・メス	7月26日	8月11日	8月25日	けい 計
アブラゼミ	オス	5	74	36	115
アブラゼミ	メス		68	48	116
アブラゼミ	けい 計	5	142	84	231
ミンミンゼミ	オス		1		1
ミンミンゼミ	メス				0
ミンミンゼミ	けい 計	0	1	0	1
ヒグラシ	オス	1			1
ヒグラシ	メス		1		1
ヒグラシ	けい 計	1	1	0	2
ツクツクボウシ	オス		4	2	6
ツクツクボウシ	メス		1	2	3
ツクツクボウシ	けい 計	0	5	4	9
クマゼミ	オス				0
クマゼミ	メス				0
クマゼミ	けい 計	0	0	0	0
ニイニイゼミ	けい 計	31	14	3	48
	ごうけい 合計	37	163	91	291



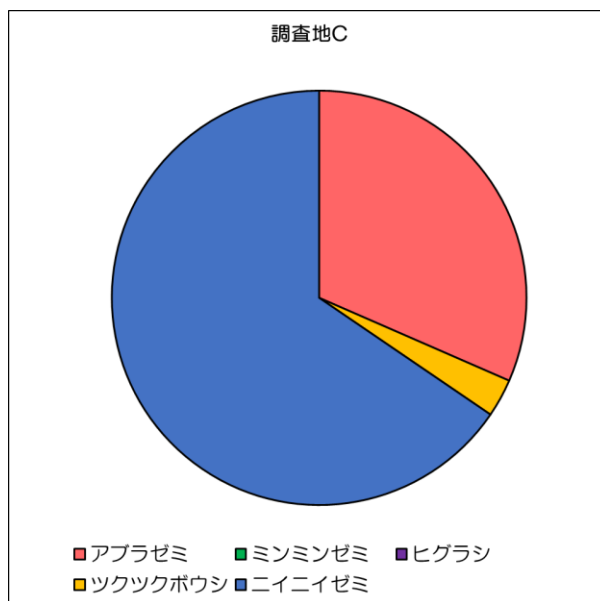
ちょうさち けっか
調査地Bの結果

しゅるい 種類	オス・メス	7月26日	8月11日	8月25日	けい 計
アブラゼミ	オス	2	10	8	20
アブラゼミ	メス		8	6	14
アブラゼミ	けい 計	2	18	14	34
ミンミンゼミ	オス				0
ミンミンゼミ	メス				0
ミンミンゼミ	けい 計				0
ヒグラシ	オス				0
ヒグラシ	メス	1			1
ヒグラシ	けい 計	1	0	0	1
ツクツクボウシ	オス			1	1
ツクツクボウシ	メス			0	0
ツクツクボウシ	けい 計	0	0	1	1
クマゼミ	オス				0
クマゼミ	メス				0
クマゼミ	けい 計	0	0	0	0
ニイニイゼミ	けい 計	27	2	0	29
	ごうけい 合計	30	20	15	65



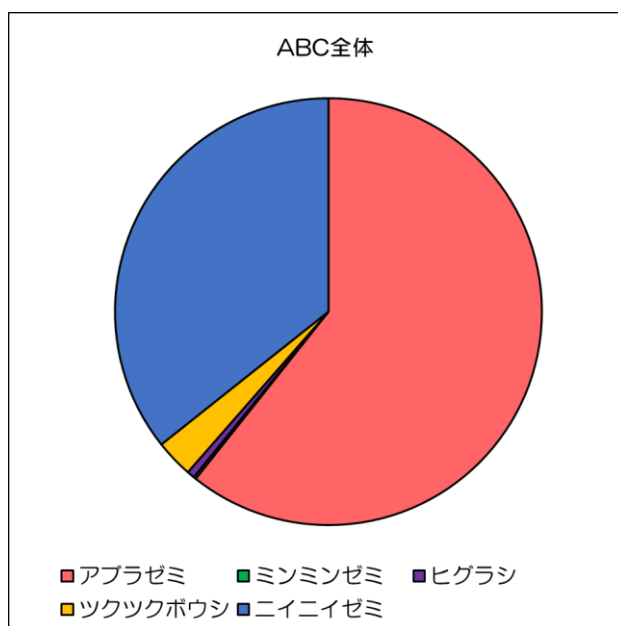
ちょうさち けっか
調査地Cの結果

しゅるい 種類	オス・メス	7月26日	8月11日	8月25日	けい 計
アブラゼミ	オス	5	20	10	35
アブラゼミ	メス	2	9	7	18
アブラゼミ	けい 計	7	29	17	53
ミンミンゼミ	オス				0
ミンミンゼミ	メス				0
ミンミンゼミ	けい 計				0
ヒグラシ	オス				0
ヒグラシ	メス				0
ヒグラシ	けい 計	0	0	0	0
ツクツクボウシ	オス		1	2	3
ツクツクボウシ	メス		1	1	2
ツクツクボウシ	けい 計	0	2	3	5
クマゼミ	オス				0
クマゼミ	メス				0
クマゼミ	けい 計	0	0	0	0
ニイニイゼミ	けい 計	88	19	3	110
	じょうけい 合計	95	50	23	168

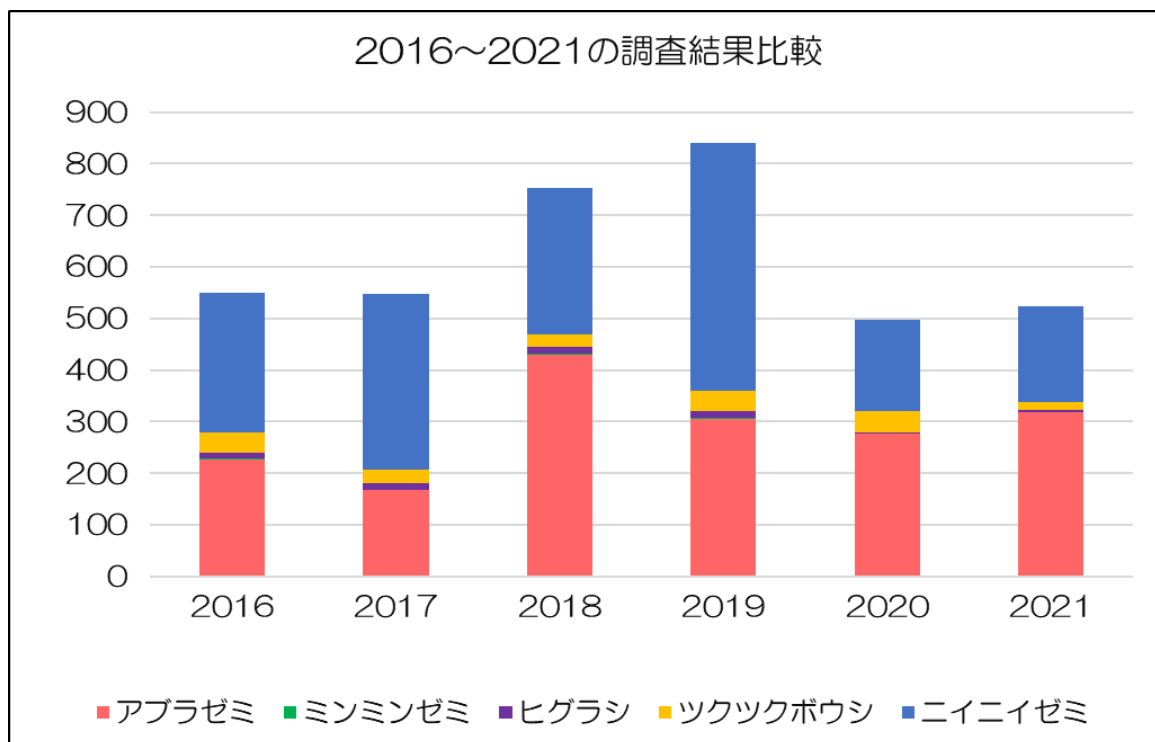


ぜんたい けっか
全体の結果

しゅるい 種類	オス・メス	7月26日	8月11日	8月25日	けい 計
アブラゼミ	オス	12	104	54	170
アブラゼミ	メス	2	85	61	148
アブラゼミ	けい 計	14	189	115	318
ミンミンゼミ	オス		1		1
ミンミンゼミ	メス				0
ミンミンゼミ	けい 計	0	1	0	1
ヒグラシ	オス	1			1
ヒグラシ	メス	1	1		2
ヒグラシ	けい 計	2	1	0	3
ツクツクボウシ	オス		5	5	10
ツクツクボウシ	メス		2	3	5
ツクツクボウシ	けい 計	0	7	8	15
クマゼミ	オス				0
クマゼミ	メス				0
クマゼミ	けい 計	0	0	0	0
ニイニイゼミ	けい 計	146	35	6	187
	じょうけい 合計	162	233	129	524



2016^{ねん}～2021^{ねん ひかく}年の比較



	アブラゼミ	ミンミンゼミ	ヒグラシ	ツクツクボウシ	ニイニイゼミ
2016	226	2	11	39	272
2017	167	1	13	26	340
2018	430	2	13	24	283
2019	306	2	13	39	481
2020	277	0	1	42	177
2021	318	1	3	15	187

- 2021年の調査で見つかったぬけがらの総数は524個で、2016年以降、2番目に少ない数となった。
- 2021年の夏は、7月上旬の梅雨前線による大雨と8月中旬の記録的な長雨があった。そのため、雨に流されたぬけがらも多かったと推測される。
- 2016年の調査開始以来はじめて、クマゼミの鳴き声が確認された。ぬけがらは見つからなかった。
- 2020年はぬけがらがみつからなかったミンミンゼミのぬけがらが調査地Aで1つ見つかった。
- ヒグラシのぬけがらは2016～2019年の調査で毎年11～13個見つかったが、2020年は

1個、2021年は3個と減少傾向にある。また、調査中、鳴き声の確認もできなかった。

- ツクツクボウシの数は調査開始以来もっとも少なく、2021年の半分以下の数となった。
- 調査地Cのあずまや近くのコナラの植栽で、2019年まではニイニイゼミのぬけがらが多く見つかった。しかし、2020年、2021年はその数が減少している。コナラの植栽はナラ枯れの被害が進んでおり、ぬけがらの減少と関係があるのかもしれない。

調査当日の様子。気がついたこと。鳴き声の聞こえたセミ。

1回目（2021年7月25日 午前）

A

当日早朝に激しい雨が降ったので、地面に落ちたぬけがらが多いと予想したが、木の幹にしっかりついているものが多かった。アブラゼミは葉の裏、ニイニイゼミは木の幹についていた。鳴き声はニイニイゼミがほとんど。

B

ニイニイゼミの声と、遠くでミンミンゼミがかすかに聞こえる。調査中にアブラゼミが鳴き始めた。晴れていて地面は乾いている。

C

下草は10cm程度。遠くでミンミンゼミ1頭が鳴いている。それ以外はニイニイゼミの鳴き声。運動場側のロープ柵で産卵中のニイニイゼミが4頭いた。あずまやの周りのヤマボウシの木の下にニイニイゼミが多かった。

2回目（2021年8月11日 午前）

駐車場でヒグラシの鳴き声を確認。台風10号の影響で、前日までの数日間でかなりの雨が降った。

A

鳴き声はニイニイゼミが主流。ときどきツクツクボウシ。途中からアブラゼミの鳴き声が増えた。台風の風雨のため地面に木の葉や枝がかなり落ちているが、地面は乾いている。地面にアブラゼミの死骸とぬけがらが多く落ちている。泥に埋まっているものも多い。

B

台風の影響で木の枝が多く落ちている。鳴き声はアブラゼミ、ニイニイゼミが多い。

C

下草は膝の半分の高さ。遠くでミンミンゼミとツクツクボウシ。近くでアブラゼミ、ニイニイゼミが鳴いている。

ロープ柵にアブラゼミのぬけがらが数個ついている。あずまやの近くのコナラの植栽、ナラ枯れが進んでいる。ナラ枯れの被害が進んだ木にはぬけがらがない。

3回目 (2021年8月25日 午前)

前回の調査のあと、長雨が続いた。

8月12日から17日は日照時間が2時間しかなく、記録的な大雨となった。

当日の天気は曇り。

A

ミンミンゼミの声が多い、次にニイニイゼミ、ツクツクボウシ。

とにかく地面に落ちているぬげがらの数が多い。ほとんどアブラゼミ。

B

鳴き声はニイニイ、ミンミン、ツクツクボウシ、アブラゼミ。一頭だがクマゼミの鳴き声を確認。

2016年に調査を開始してから、初めてのこと。

ヒグラシの成虫を確認したが、鳴き声はなし。

C

運動場側の草は膝丈。

ミンミンゼミ、ツクツクボウシが多く。ニイニイゼミもいる。